

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. 生産管理		スマートファクトリー実現に向けて課題の抽出から計画までの知識を学ぼう！		
管理手法		製造分野におけるDX推進		
コースのねらい		生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革(DX)を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。		
対 象		(中堅・管理者層向け) ・製造現場で利用されているデジタル技術を知りたい方 ・自社に合ったデジタル化を図りたい方		
講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	製造業におけるDXの理解	(1)DXとは ・新しい価値を創造するDX ・製造業におけるDXとは ・なかなか進まないDX、失敗事例 【演習①】IT活用、DX推進セルフアセスメント (2)スマート化を目指す ・3つのスマート化 ・データドリブン経営とは ・スマート化の事例紹介 (3)DXの狙い ・なぜ業務革新が必要なのか ・業務革新、顧客価値創造に向けて 【演習②】SWOT分析によるDX戦略の検討	1.8
	2	DX実現事例	(1)製造分野のDX ・DXで解決したい課題 ・デジタル化によるプロセス革新事例 【演習③】ものと情報の流れ図 (2)解決困難な共通課題 ・属人化の問題 ・属人化に着目した仕事の標準化 (3)データドリブンのものづくり ・開発～製造～サービスをデータで繋げる ・商品価値を高める情報とは ・QCD管理データの棚卸し	0.7
	3	DX推進の目標設定と解決策	(1)ものづくりの課題抽出 ・課題を見る化 ・解決したい職場の課題 【演習④】DX推進の課題化 (2)製造分野のデジタル化 ・デジタル化を進める ・DX推進のねらい (3)様々な課題をDXで解決する ・DX推進体制の整備 ・DXの目的、目標設定	1.5
	4	DX推進の計画と実行	(1)データドリブンものづくり実践 ・PoCによるPDCA活動について ・計画と実績の見える化 ・データ収集、蓄積、加工 (2)社内部門連携で進めるDX ・全社的横断的な取り組み ・DX推進実行計画の策定 ・スモールスタートでDX推進 【選択演習⑤】ビジネスモデル構想 or DX推進マップの作成 (3)社外資源の活用と連携 ・システム開発の手順 ・開発手法について (4)DX推進人材育成と人材の確保 ・DXを推進するために必要な技術と人材 ・人材育成の要点	2.0
	演 習		①IT活用、DX推進セルフアセスメント ②SWOT分析によるDX戦略の検討 ③ものと情報の流れ図 ④DX推進の課題化 ⑤ビジネスモデル構想 or DX推進マップの作成	基本項目に含む
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント

- (1) 製造業においてDXが成功するために必要な要件を理解して頂きます。
 (2) 企業におけるDX推進活動に有効な考え方を説明し、自社の今後のDX活動の構想が描けるように進めていきます。実際に考えグループ討議を重ね議論することで新しい気づきを発見する。
 (3) 演習を通じて、自社の生産プロセスを革新するためのDXの方策を検討します。

備考

受講者：筆記用具、電卓(スマホ可)